

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	国民健康保険療養等の給付事務事業	会計	国民保険	事業No.	256	施策順No.	31-017
		事業種別	政策・その他	予算科目	2-1-1-10-1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	保健課		
施策	31 心と体の健康づくり			事業期間	開始	S34	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	国民健康保険被保険者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		国民健康保険被保険者世帯数(世帯)	21501	15830	15302	15201	15200	
	意図	被保険者の疾病、負傷等について必要な給付を行い、被保険者の健康を保持する						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	療養諸費給付額(千円)	5014845	5056615	5253515	5000000	5397750	5000000	A
	高額療養費給付額(千円)	449205	530668	585353	500000	647695	500000	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	保険者として、市民が心身ともに健康を保てるよう、給付事務を適正に執行した。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	被保険者の疾病、負傷等について療養の給付、療養費、高額療養費等を支給する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 療養の給付(入院、入院外、歯科、調剤、食事療養、訪問看護) 2 療養費の支給(はり、きゅう、マッサージ等) 3 高額療養費の支給	1 入院給付件数 2 入院外給付件数 3 高額療養費支給件数	1 4,986件 2 199,094件 3 9,220件
23年度実施計画	1 療養の給付(入院、入院外、歯科、調剤、食事療養、訪問看護) 2 療養費の支給(はり、きゅう、マッサージ等) 3 高額療養費の支給	1 入院給付件数 2 入院外給付件数 3 高額療養費支給件数	

3 事業コスト

事業費	(千円)		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	特定財源	国庫支出金	1,506,400	1,506,400	1,399,280	
		県支出金	185,598	185,598	226,888	
		起債				
		その他	3,468,633	3,468,633	3,813,680	
		一般財源	906,953	905,199	1,050,090	
		計 (A)	6,067,584	6,065,830	6,489,938	
		正規職員所要時間		14,000		
		臨時職員等所要時間		2,000		
		人件費計 (B)		52,214		
		トータルコスト A+B		6,118,044		

療養給付費等負担金、療養給付費交付金、県財政調整交付金、保険財政共同事業交付金、第三者行為納付金、高額医療費共同事業交付金

4 事業に対する市民や議会の意見

特になし

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民が心身ともに健康を保つ	施策の成果指標又はムトス指標	生活習慣病による65歳未満死亡率(飯田市の65歳未満人口を10万人と想定した時、年度でなく年が基準)(人) 特定健康診査の受診率(国保)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	特になし		
	後期に向けた課題	特になし		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	特になし		
	後期に向けた課題	特になし		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	特になし		
	後期に向けた課題	特になし		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	特になし		
	後期に向けた課題	特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	特になし		
	後期に向けた課題	特になし		
全体を通じて	4年間の振り返り	・保険者として、市民が心身ともに健康を保てるよう、事務を執行した。		
	後期に向けた課題	・保険者として、市民が心身ともに健康を保てるよう、引き続き給付事務を適正に執行する。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------